



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2012.4月号

春期特別展 平塚と相模の城館

5月6日まで開催



開催中の春期特別展「平塚と相模の城館」では【城館】を軸にして「中世の平塚」を紹介しています。4月は毎週土曜日に連続講座「平塚合戦絵巻」を開催します。

講座では岡崎義実、真田与一、土屋宗遠など地域の歴史に大きな足跡を残した人々、足利持氏、扇谷上杉定正、三浦義同など全国的な知名度は低いけれども平塚の中世史に欠かせない人々を紹介し「城館」の役割も探っていきます。

I 平塚の遺跡を歩く	事前申込
「墨染館と田村館」 内容：相模川沿いの城館、墨染館と田村館を訪ねます。 定員：25人 参加：往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入し、4月13日(金)必着で。	4月22日(日)
II 講演会 午後2時～3時30分	講堂・自由参加
「中世の資料と真田城の土器」 内容：展示中の資料を解説します。 定員：80人 参加：自由参加。会場が満席になり次第締め切ります。	4月15日(日)
III 連続講座『平塚合戦絵巻』 各回とも 午後2時～3時30分	講堂・自由参加
1「打倒平家 相模武士の決断」	4月7日(土)
2「関東公方の野望 足利持氏と成氏」	4月14日(土)
3「動乱の世紀 扇谷上杉氏と三浦氏」	4月21日(土)
4「平塚の戦国 伊勢宗瑞と小田原北条氏の戦略」	4月28日(土)
定員：各回80人 参加：自由参加。会場が満席になり次第締め切ります。	

プラネタリウム番組

ゴッホが描いた星空

平塚市美術館の「棟方志功展」と連動してお贈りするプラネタリウム番組です。

棟方志功が傾注したといわれるゴッホ。その作品には、星空を描くものがあります。この番組は、ゴッホの足跡を現地に追いながら、描かれた星空の状況を求め、そこに込められた作者の思いを推理する、天文と美術のコラボレーションした作品です。

絵画の中に入り込むような全天周映像をお楽しみください。

(制作：株式会社イーハトーブ)



ゴッホ自画像 (フランスオルセー美術館蔵)

■ 投影日

★ 4月14日～6月3日の土・日曜日
(ただし5月19日・20日を除きます)

午前11時 午後2時

★ 4月18日～4月26日の水・木曜日

午後3時30分

■ 観覧料

200円 (18歳未満・65歳以上無料)

■ 定員

各回70名

新着資料展—民俗・歴史・天文—

会期：平成24年4月1日～4月30日 場所：博物館1階寄贈品コーナー

4月の寄贈品コーナーは23年度にあらたに収集した資料を展示します。

民俗資料は、21件で総数1000点余りをあらたに受け入れました。とくに市内4軒の旧家から、蔵や物置、母屋などに収められていた生活道具がまとまって寄贈され、質量ともに充実した資料が得られました。また真田神社からは、明治時代の大幟や、市外からの参拝者が奉納した“お幟”が寄贈されました。往事の“真田のお天王さま”の活況を物語る貴重な資料といえます。こうした資料から一部をご紹介します。

歴史資料からは、海軍火薬廠関係資料、神風特攻隊千早隊の鉢巻など、戦前戦中の資料を紹介します。

天文資料からは、毎年観測を続けている太陽の黒点スケッチをはじめ、昨年12月10日に見られた皆既月食の写真や市民の方から寄せられたスケッチをご紹介します。



明治13年に購入されたトオシ(岡崎今井利貞家寄贈)



真田神社のお幟

企画展「花水川源流からのメッセージ—南から来た丹沢の岩石・化石展—」

会期：平成24年4月1日～5月6日
場所：博物館2階 情報展示コーナー
主催：丹沢化石研究会・平塚市博物館
協力：神奈川地学会

花水川の源流には金目川や水無川があります。これらの源流をなす丹沢山地には、海底火山から噴出された枕状溶岩や、サンゴ礁であったことを示すサンゴ化石・オウムガイ化石などが見られます。それらは、かつて丹沢が南の海の火山体であった時期のものです。また、現在地へ丹沢がたどり着いてから、丹沢で新たな火成活動がありました。そのひとつに、水無川本谷産の流紋岩があります。この流紋岩は天然砥石として、今から1400年も前から利用されてきたことが遺跡から出土する遺物によってわかっています。水無川は江戸時代頃には砥川と呼ばれていました。この展示では、こうした花水川源流の岩石や化石にスポットをあて、丹沢山地の生き立ちについて紹介します。下記の関連行事も行いますので、ご参加ください。



西丹沢の河内川源流の谷で見つかった
1400万年前のオウムガイ化石

企画展関連行事 体験学習「携帯用プチ砥石 刃みがき君を作ろう」

丹沢水無川源流産の岩石でプチ砥石を作ります。また、丹沢産天然砥石で試し研ぎをしてみませんか。あなたの愛用の包丁、農具などをご持参ください。置き砥でピカイチの研ぎ感触を味わえます。

日時：4月14日（土） 14時～16時

参加：自由（砥石研ぎは成人・父兄同伴とします） 定員：25名（当日先着順）

参加費：100円（実費） 場所：博物館科学教室

博物館こどもフェスタ 2012 5月6日（日）開催！

今年で7回目を迎える“こどもフェスタ”。科学実験、古代生活体験、収蔵室見学ツアー、民具体験など、親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意しています。いずれの行事も事前の申込は入りません。どうぞ、ふるってご参加ください。イベントの詳細は5月号でお知らせします。



古代生活体験「火起こし」

☆開催予定イベント☆

古代生活体験「火起こし・弓矢」、むかし子ども遊び、おいしく学ぶキッチン火山実験、小さいけど偉大なプチ化石実物図鑑づくり、太陽をみよう、博物館ぶたいうらたんけんツアー、むかしの道具にチャレンジ、他。



博物館ぶたいうらたんけんツアー

4月

2月	休館日		寄贈品コーナー「新着資料展」4月30日まで	企画展「花水川源流からのメッセージ—南から来た丹沢の岩石・化石展—」5月6日まで	春期特別展「平塚と相模の城館」4月14日～6月3日	プラネタリアム「アクアマリンの星空の旅」4月8日まで	プラネタリアム「ゴッホが描いた星空」4月14日～6月3日
3火	平塚地質調査会	工作室					
5木	展示解説ボランティアの会	特別研究室					
6金	古文書講読会	講堂					
	◎星を見る会「月・金星・火星・春の星」	科学教室・屋上					
7土	◎連続講座『平塚合戦絵巻』 「打倒平家 相模武士の決断」	講堂					
8日	相模川の生い立ちを探る会	野外					
9月	休館日						
12木	石仏を調べる会	特別研究室					
13金	古文書講読会	講堂					
	お囃子研究会	講堂					
14土	◎連続講座『平塚合戦絵巻』 「関東公方の野望 足利持氏と成氏」	講堂					
	◎プチ砥石を作ろう	科学教室					
15日	◎講演会「中世の資料と真田城の土器」	講堂					
16月	休館日						
18水	裏打ちの会	科学教室					
	民俗探訪会	特別研究室					
19木	展示解説ボランティアの会	特別研究室					
20金	古文書講読会	講堂					
	地域史研究ゼミ	特別研究室					
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室					
21土	◎星まつりを調べる会	科学教室					
	◎連続講座『平塚合戦絵巻』 「動乱の世紀 扇谷上杉氏と三浦氏」	講堂					
	ろばたばなし	相模の家					
22日	◎ピンホール日食観察筒を作ろう	講堂					
	◎平塚の遺跡を歩く「墨染館と田村館」	野外					
23月	休館日						
26木	石仏を調べる会	特別研究室					
27金	古文書講読会	講堂					
	天体観察会	科学教室・屋上					
28土	◎連続講座『平塚合戦絵巻』 「平塚の戦国 伊勢宗瑞と小田原北条氏の戦略」	講堂					
29日	◎ピンホール日食観察筒を作ろう	講堂					
30月	祝日開館						

5月

3木	特別展展示解説 展示解説ボランティアの会	特別展示室 特別研究室	寄贈品コーナー「天文部門」5月2日～6月3日	プラネタリアム「ゴッホが描いた星空」6月3日まで	プラネタリアム「幼高け影」だれがおむすびかしたの? 6月10日～7月5日
4金	祝日開館				
5土	特別展展示解説	特別展示室			
	◎ピンホール日食観察筒を作ろう	講堂			
6日	◎博物館子どもフェスタ 2012	全館			
7月	休館日				
8火	地質調査会	工作室			
10木	石仏を調べる会	特別研究室			
11金	古文書講読会	講堂			
12土	◎ピンホール日食観察筒を作ろう	講堂			
13日	平塚の古代を学ぶ会	講堂			
14月	休館日				
16水	民俗探訪会	鎌倉市			
	裏打ちの会	科学教室			
17木	展示解説ボランティアの会	特別研究室			
18金	古文書講読会	講堂			
	お囃子研究会	講堂			
	古代生活実験室	科学教室			
19土	地域史研究ゼミ	特別研究室			
	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室			
20日	◎ろばたばなし	相模の家			
	相模川の生い立ちを探る会	江ノ島			
21月	休館日				
	◎金環日食観察会	屋上			
24木	石仏を調べる会	特別研究室			
25金	古文書講読会	講堂			
26土	お囃子研究会	講堂			
	天体観察会	科学教室			
27日	星まつりを調べる会	特別研究室			
28月	休館日				
31木	休館日				

☆: 展示・プラネタリアム ○: 申込制行事 ◎: 参加自由 無印: 年間会員制

日時: 4月22日(日)、29日(日)、5月5日(土)、5月12日(土)
午後3時30分～5時
場所: 博物館講堂
参加: 往復はがきにイベント名、住所、電話番号、参加する方のすべての氏名を記入し、それぞれ2週間前まで(4月22日分は9日(月)まで)に申し込む。応募多数時は抽選。定員各回50人(小学生以上)

◎金環日食観察会
内容: 太陽がリング状に欠ける金環日食を観察します。
日時: 5月21日(月) 午前6時30分～午前8時(曇雨天時中止)
場所: 博物館屋上
参加: 往復はがきにイベント名、住所、電話番号、参加する方のすべての氏名を記入し、5月7日(月)までに申し込む。応募多数時は抽選。定員80人
備考: 屋上までは階段で上がっていただくことになります。ご了承ください。また、お車での来館はご遠慮ください。

<自由参加の行事>
◎星を見る会「月・金星・火星・春の星を見よう」
日時: 4月6日(金) 午後7時～午後8時30分
場所: 博物館科学教室・屋上
◎ろばたばなし
内容: 民家のいろいろばたで昔話を語ります。
日時: 4月15日(日) (1)午後1時20分、(2)午後3時
場所: 展示室1階「相模の家」

4月の休館日: 2日、9日、16日、23日

展示・プラネタリアムと行事

- <特別展と関連行事>
 - ☆春期特別展「平塚と相模の城館」
※本紙1頁参照
- <寄贈品コーナー>
 - ☆「新着資料展—民俗・歴史・天文—」
※本誌2頁参照
- <企画展>
 - ☆「花水川源流からのメッセージ—南から来た丹沢の岩石・化石展—」
※本誌3頁参照
- <プラネタリアム>
 - ☆プラネタリアム番組「アクアマリンの星空の旅」
内容: 星空を歌うアーティスト、アクアマリンの曲をバックに、その心の星空を巡ります。
投影日: 4月8日(日)までの土、日曜日
時間: (1)午前11時 (2)午後2時
 - ☆プラネタリアム番組「ゴッホが描いた星空」
※本紙2頁参照
- <申込制の行事>
 - ◎日食観察用ピンホール投影機を作ろう
内容: 日食を安全に観察するためのピンホール投影機を作り、日食の観察方法について学習します。

あなたと博物館 40巻1号 通算424号 発行 平塚市博物館 2100
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
E-Mail. info07@hirahaku.jp ホームページ http://www.hirahaku.jp/